

2021年9月15日
(一社) 日本出版取次協会

大規模自然災害発生時の取次発送作業および輸配送の対応について

近年、台風や線状降水帯に伴う集中豪雨など、命に係わる重大な自然災害が発生しており、気象庁は警報・警戒情報を、対象地域の各自治体は警戒レベルを発信する事で、命を守る行動の呼びかけと重大な事故を未然に防ぐ働きかけを行っております。

日本出版取次協会では、台風など予め発生が予見されている大規模な自然災害に対して、物流現場および輸配送業務において、人命を優先し、且つコンプライアンスを遵守するという前提に立ち、被害を最小限に留めるため、当協会としての対応基準を策定しました。該当事象が発生した場合は、対応基準に則りながら臨機応変に関係団体と適宜協議の上、迅速に対応してまいります。

【対応基準】

※当対応は、大規模災害が商品をご搬入頂く取次発送作業現場が集中する一都三県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）で発生した場合となります。

1. 国土交通省の定める異常気象時における措置の目安を参考に「輸送することが適切ではない」状態とされる降雨 50mm/h 以上や風速 30m/s 以上、又は同様のことが予見される場合を対象として、災害発生予測 3 日前までに取次協会内で対応を検討。
2. 災害発生予測 2 日前までに関係団体と取次協会対応案の協議を行い合意形成した上で対応を決定する。
3. 対応決定後、災害発生予測日に搬入日等の変更が生じる場合、該当日に商品をご搬入頂く全てのお取引先様に対して、各取次会社の担当者が変更連絡を行う。

搬入日等の変更が生じた場合、一定期間において日本全国の店舗様に予定されている新刊の発売日や注文品の店着日に商品が届かない場合がございます。また、正確な予測が困難な自然災害対応につき、行き届かない対応となってしまう場合もあることをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。